

第九十回帝國議會 衆議院 林業會法案委員會會議錄(速記)第十四回

付託議案
林業會法案(政府提出)

昭和二十一年九月六日(金曜日)午前十時十五分開議

出席委員

委員長 森 幸太郎君
理事 佐民君 理事 平野 增吉君
理事 氏原 一郎君

理事 直道君 大井直之助君
木島 義夫君 小柳富太郎君
太田秋之助君 仲川房次郎君
本名 武君 武藤 常介君
永井勝次郎君 林田 哲雄君
松澤 一君 坪井 龜藏君
磯田 正則君 井出 太郎君

出席國務大臣 農林大臣 和田 博雄君
出席政府委員 農林技官 中尾 勇君
農林事務官 平川 守君

本日ノ會議ニ付シタ議案
林業會法案(政府提出)

○森(幸)委員長 是ヨリ開會致シマス

○本名委員 昨日ニ引續キシテ森林資源ノ培養ニ付テハ、三御尋常致シマス、簡單ニ伺ヒマスノデ、答辯ハ明快ニ御願ヒ致シタイト存ジマス、種苗ノ生産ニ付キマシテハ先般氏原委員カラモ指摘サレマシタガ、現在ドノヤウナ積極的ナ方法ヲ執ツテ居ラレカ、林業種苗法並ニ施行令、施行規則ニ依リマス、非常ニ窮乏ナモ非民主的ナ

取扱ラシテ居ルヤウデアリマスガ、是等ノ法律ヲ變更スル御意思——民主化スル御意思ガナイカドウカ、ソレカラ官有林ノ苗圃ハ可ナリ計畫的ニ實施サレテ居ルヤウデアリマスガ、今後ノ森林培養ノ點カラ考ヘマシテ、モットモット積極化セネバナラナイト同時ニ、民有ノ苗圃ノ經營ニ對シテ政府ハモット積極的ナ助成ヲササル御意思ガナイカドウカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○中尾政府委員 種苗ノ養成ハ造林事業ノ根柢ヲナスモノデアリマス、政府ニ於キマシテモ此ノ點ニ力ヲ入レテ居ルデアリマス、特ニ又戰時中民間苗圃ノ大部分、又國有ノ方モサウデアリマシタガ、食糧事情ノ爲ニ農耕地ニ移動シテ行ツタモノガ相當多數アリマシタノデ、造林ノ五箇年計畫ヲ實施スルニ當リマシテ、此ノ苗圃ノ方モ五箇年計畫ヲ立テ、又種子採取ノ方モ五箇年計畫ヲ立テ實行スルコトニ致シテ居ルデアリマス、國有林ノ方ノ苗圃ノ實施ニ付キマシテハ、過般御答ヘ致シタノデアリマスガ、出來ルダケ國有苗圃ノ活用ヲ致シマシテ、國有林ノ苗圃ノ方デ苗圃ヲ養成致シマシテ、民間ノ方ニ——主トシテハ森林組合ヲ對象ニ致シテ居ルデアリマスガ、民間ノ方ニ幼苗ノ配付ヲ致シマシテ、山木苗ノ養成ヲシテ實ヲ積リデ、營林署ノ方ノ國有苗圃ハ既ニ其ノ準備ニ著手致シテ居ルデアリマス、又種子ノ採取モ、前申シマシタ通りニ、出來ルダケ國ニ於テ採取ヲ

シテ配付ヲスルト云フ考ヘデ實行ヲ致シテ居ルデアリマス

○本名委員 次ニ保安林ノ現狀ニ付テ御尋常致シマス、保安林ハ國土保安上適正ナ配置ヲ育成ガ絕對必要デアラウト思ヒマスガ、現在ニ於ケル其ノ實情ハドノヤウニナツテ居リマスカ、大體昭和十五、六年頃ト思ヒマスガ、二百餘萬町歩ノ面積ヲ有シテ居タト記憶シテ居リマスガ、戰時中ハ此ノ編入解除ヲ地方長官ニ委任サレタコトニ依ツテ、多少ノ異動ガアラウト思ヒマス、立木ハ戰時中伐採ヲサレテ居ルト思ヒマスガ、現況ヲ概略御説明願ヒタイト思ヒマス

○中尾政府委員 保安林ハ、十六年度ノ統計デアリマスガ、全國デ二百十五萬町歩程ノ保安林ガアルデアリマス、只今御述べニナリマシタ通りニ、戰時中ニ於キマシテハ保安關係ノ十分考慮致シマシテ、保安關係ノ少イ所ノ林分ニ付キマシテハ、相當伐採モ行ハレマシタシ、又保安關係デ支障ノナイ所ニ付キマシテハ、食糧事情ノ關係デ開墾致シタ所モ相當アルデアリマス、總體的ニ只今其ノ結果ガ取纏ツテ居ラナイデアリマスガ、只今其ノ移動ノ狀況、或ハ現況ニ付キマシテ調査中デアリマシタ、何レハツキリスルコトト思ヒマス、戰時中ニ於キマシテハ、保安林ノ編入解除ト云フモノガ餘リ行ハレナカッタヤウニ考ヘテ居リマス、唯保安林ノ伐採致シ、又開墾シテ居ル箇所ハ相當アルヤウデアリマスガ、先對申上ゲマシタヤウニ、

只今實情ノ調査中デアリマス

○本名委員 保安林ノ重要性ハ申上ゲルマデモナイコトデアリマスガ、此ノ點ノ培養ニ付キマシテモ政府ハ積極的ニ努力セラレンコトヲ希望シテ置キマス

次ハ五十町歩未満ノ森林所有者ハ、森林組合令ニ依リマシテ大體ニ於テ計畫サレマシタ實施案ガ實施サレテ居ルハ思ヒマスガ、是等ハ全民有林ノ大半ヲ占メテ居リマスノデ、林政ノ上ニハ影響ガ非常ニ大キノデ、絕對重點的ナ實施案ノ實施ヲ期セナケレバナリマセマスガ、一方五十町歩以上ノ森林所有者ノ實施案ノ實施狀況ハドノヤウニナツテ居リマスガ、今後ノ森林行政ノ面カラ言ヒマシテモ、寧ろ此ノ五十町歩以上ノ大口森林所有者モ、森林組合ニ加入セシメルコトニ依ツテ一貫シタニ加入スルニ當ルコトノ方ガ適當

○中尾政府委員 五十町歩以下ノ小面積ノ私有林ノ實施案ニ付キマシテハ、先般御答ヘ致シマシタ通りニ、昭和十四年カラ此ノ實施案ノ編成ニ著手シタノデアリマスガ、戰時中ハ勞務資材ノ關係デ殆ド豫定通りノ實行ヲ見マセヌデシタ爲ニ、只今マデニ約三〇%、三百七十萬町歩程度ノ編成ヲ了シテ居ルデアリマス、ソレカラ五十町歩以上ハ單獨實施案ヲ編成スルコトニ規定ハ相成ツテ居リマス、又五十町歩以上ノモノデ編成済ミガ約百七十萬町歩程度アツタト存ジマスガ、是等モ、五十

町歩デアリマシテモ御説ノ通り森林ノ合理的な施業ノ面カラ申シマス、ドウシマシテモ面積ハ狭イヤウニ考ヘマス、只今ニ於キマシテモ、森林組合ノ方ノ實施案ト綜合致シマシテ經營シテ行ク方ガ合理的ト考ヘマシテ、五十町歩以上ノ實施案ヲ編成シテ居リマス、森林所有者ニ對シマシテモ、森林組合ニ加入スルコトヲ慫慂致シマシテ、只今ノ所大部分ガ森林組合ニ加入シテ居ル實情ニ相成ツテ居リマス、今後モ五十町歩以上ノモノニ付キマシテモ、出來ルダケ森林組合ニ加入シテ戴キマシテ、綜合的ニ施業ヲヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○本名委員 次ハ價格ト規格ノ對策ニ付テ伺ヒタイデアリマスガ、是ハ主トシテ經濟安定本部ガ主管サレルデアリマスガ、此處ニ御見エニナツテ居リマセヌノデ、是ハ省略致シマシテ、次ニ木材ノ需給計畫ニ付テ若干御尋常致シタイト思ヒマス、經濟林力ト需要量トノ大キナ差ノアルコトハ、既ニ各委員カラ指摘サレマシテ、ソレハ御意見ヲ伺ツタノデアリマスガ、我々ノ心配致シマス所ハ、現在ノ戰災復興並ニ引揚、復興者ニ對スル住宅、或ハ學校建築ノ復興、是等ノ狀況ガ遲々トシテ進ンデ居リマセヌ、併シナガラ何レハ復興シ、何レハ建設シナケレバナラナイコトナデアリマスガ、之ニ對シテ此ノ林力ト需要量ノ差ヲ、如何ニ具體的ナ方法ヲ以テ切詰メルカト云フコトノ御意見ガ、今マデハ不徹底デアツタヤウデアリマスガ、此ノ點ニ付テモ

ウ一度御尋ね致シマス

○中尾政府委員 木材ノ需給ノ關係デアリマスガ、本年度ノ木材ノ生産目標ハ七千五百萬石餘ニ相成ツテ居リマス、又供給豫定ハ七千二百萬石餘ニ相成ツテ居ルノデアリマス、只今マデ大體ノ實行狀況ヲ申上ゲマス、第一四半期ニ於キマシテハ、前年同期ト比ベマシテ大體七四〇程度ノ生産實績ニ相成ツテ居ルノデアリマス、數量デ申上ゲマス、千四百萬石程度デアリマス、此ノ儘推移致シマシテハ、此ノ七千五百萬石ノ確保ハ中々容易デナイ實情ニアルノデアリマス、併シ政府ト致シマシテハ、極力努力致シマシテ、目標量ダケノ確保ハ致シタイ覺悟デ、只今凡ル方策ヲ講ジテ、努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、配給ノ方モ七千二百萬石ノ内、第一四半期ノ豫定ノ實行實績ハ大體五二〇程度ニ相成ツテ居ルノデアリマス、其ノ中一般用材ノ建築材ダケニ付テ申上ゲマス、七二〇程度ノ實績ヲ收メテ居ルヤウナ次第デアリマス、所ガ戰災復興トシテ要シマスル木材ノ世ハ、戰災家屋、又強制疎開ニ依ツテ撤去サレマシタ家屋ノ復舊、其ノ他海外カラノ引揚同胞ノ住宅トシテ不足家屋ト云フヤウナモノマデ合計致シマス、大體木材ノ所要量ガ、二億五千萬石近ク要ルノデアリカト云フ風ニ想像サレルノデアリマスガ、此ノ所大ナ數額ヲ賄ヒマス、内地ノ森林カラ生産サレマス數額ダケハ、ドウシテモ需給ノ均衡ヲ取ルコトハ困難ノヤウニ思料致サレルノデアリマス、デ政府ト致シマシテハ、内地ノ方ノ森林ヲ一面休養サセル必要モアリマスシ、一面又緊急需要ノ復興材ノ供給ノ點モアリマス、内地ノ森林カラノ生産

ハ極力努力致シマシテ増加ヲ圖ルト共ニ、一方外材ノ輸入ガ出來ル情勢ニナリマシタ場合ハ、外材ヲ輸入致シマシテ、此ノ需給ヲ充タシテ行キタイト云フ考ヘヲ以チマシテ、外材ノ輸入ノコトニ付キマシテハ、只今計畫ヲ立テ、マデ正式交渉モ出來マセヌガ、内内ノ交渉ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○本名委員 次ハ土地ト水ノ利用或ハ收用ニ付テ伺ヒタイと思ヒマス、森林法ノ第四章ニハ、此ノ土地ト水利ニ關スル規定ガ設ケラレテ居リマスガ、從來大體ニ於テ奥地ノ林業ヲ營ミマシ場合ニハ、折角森林所有者カラ適正ナ價格デ立木ヲ買取リマシテ、之ヲ生産致スニ當リマシテモ、此ノ土地ト水利ノ問題ニ付テ非常ナル阻碍ヲ受ケ、而モトンデモナイ經費ヲ課セラレル場合ガ往々ニシテアルノデアリマスガ、之ニ對シテ、政府ハ此ノ森林法ヲ活用致シマシテ、生産業者ト所有者ノ間ノ摩擦ヲ避ケシメル爲ニ、適正ナ利用或ハ收用ノ方法ヲ強化サレル御意見ガナイカドウカラ伺ヒタイと思ヒマス

○平川政府委員 此ノ問題ニ關シマシテ、森林所有者或ハ土地所有者ト生産業者ノ間ノ、錯綜シタル利害關係ガアリマス、之ニ付テ現在行ツテ居リマスヤウナ森林法ノ第四章ノ規定ヲ、特ニ強化致スト云フヤウナ考ヘハゴザイマセヌ、是ノ運用ヲ適切ニ致シマシテ、關係者ノ間ノ調節ヲ圖ツテ參ルト云フコトニ致スヨリ、致シ方ガナイト思ヒマス

○本名委員 次ハ林業教育ト林業ニ對スル研究並ニ文化的ナ林業政策ニ付テ一、二御尋ねシタイと思ヒマス、林業教育ニ付キマシテハ、既ニ政府當局

ノ熱意アル御意見ヲ承ツテ居リマス、非常ニ喜ブモノデアリマスガ、唯林産物ノ利用ノ面ニ於キマシテ、生産技術ヲ相俟ツテ非常ニ無駄ノアルコトヲ我々ハ痛感致スノデアリマス、即チ生産設備ノ進化ナキコト、集約利用ニ科學性ガナイト云フコトデアリマス、是ハ消費者ノ覺醒モ勿論必要デアリマセウガ、先ヅ是等ノ觀點カラ、研究機關ヲ急速ニ設ケルコト、既存ノ官營研究機關ヲ積極的ニ民間ニ開放致シマシテ、官民協力セル一大研究所ヲ設置スルコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、更ニ民間單獨ノ研究機關ニ對シマシテハ、政府ハ積極的ナ助成ヲ致シマシテ、此ノ木材ノ科學的加工ノ振興ヲ圖ル爲ノ十分ナル研究ヲ致サセルコトガ、急務ノ一ツデアラウト考ヘルノデアリマス、從來ノ官營ノ林業試驗場ナドハ、全ク封建的ナ取扱ヒデアリマシテ、我々民間ヲ一步モ近付ケナイヤウナ研究ノミヲ致シテ居ツタノデアリマス、是等ニ付テハ速急ニ改革スベキデアラウト思ヒマス、之ニ付テ御意見ヲ伺ヒマス

○中尾政府委員 生産技術ノ向上ニ付キマシテハ、全ク御説ノ通り更ニ考究ヲ要スル點ガ多クアルノデアリマシテ、政府ト致シマシテモ、此ノ生産技術ノ向上ニ付キマシテハ、只今色々ト改良ノ努力致シテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り、生産ノ方ノ面ニ付キマシテハ、機械力ノ應用其ノ他色々アルノデアリマスガ、現場ニ於キマスル仕事關係ニ於キマシテハ、御承知ノヤウナ内地ノ山林ノ地形ノ關係モアリマシテ、ドウモ思フ通り進捗致シテ居ナイノデアリマスガ、併シ特ニ國有林ノ方面ニ於キマシテハ、生産關係ノ機械化

ニ付キマシテモ、只今出來ルダケノ努力ハ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ運材其ノ他種々施設等ニ付キマシテモ、機械化ヲ圖ルベク、關係方面トモ協力致シマシテ、只今努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ生産力ヲ最高度ニ發揮致シマス爲ニ、色々試驗研究モ必要カト存ジマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、幾ニ何回モ大臣カラモ御答辯ニナリマシタヤウニ、試驗研究機關ノ擴充ニ付キマシテモ、政府ト致シマシテハ只今極力努力ヲ致シテ居リマス、又試驗場ノ運営ニ付キマシテモ、從來御説ノヤウナ色々遺憾ノ點モアツタカト思ヒマスガ、今後ハ出來ルダケ民間ノ方ニモ開放シ、又協力シテ此ノ試驗ノ進行ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス

○本名委員 次ハ文化的ナ林業政策ニ付テ御尋ね致シマス、森林ノ愛護精神ハ涵養ニ付テハ既に色々論ゼラレマシタ、勿論愛林思想ノ一般の普及ト云フコトハ缺クベカラザルコトデアリマス、同時ニ觀光政策ト森林ニ付テ政府ハドノヤウニ御考ヘニナツテ居ラレルカト伺ヒタイと思ヒマス、即チ我が國ハ全土ノ約七割ガ森林地帯トシテ、將來ハ正ニ東洋ノ庭園タラシメ、サウシテ此處ニ外人觀光客ヲ誘致致シマシテ、經濟上ニモ、或ハ愛林思想ノ上カラモ、此ノ森林ヲ利用スルコトガ最も必要デアラウト考ヘラレマス、更ニ又本法案ニ關係致シマシテ、此ノ觀光團體ヲ林業會ニ包含セシメマシテ、觀光政策ト森林ノ行政政策ヲ進展サセルト云フ方法モ一方デナイカト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シテ御意見ヲ承リタイと思ヒマス、更ニ又保安林ノ中ニアリマス衛生林、是等ニ付キイシ

テモ、特ニ今後ノ都市復興計畫ハ、國土計畫ノ上カラ行キマシテモ大イニ檢討スベキデアラウト思ヒマスガ、是等ニ付テ御意見ヲ承リタイと思ヒマス

○平川政府委員 森林ノ有スル文化的ナ重要性ニ付キマシテハ、御説ノ通りト在ルノデアリマス、固ヨリ戰時中、又今後モ緊急ノ必要ニ依リマシテ、木材ノ生産ハ圖ラナケレバナリマセヌケレドモ、同時ニサウ云ツタ意味カラノ森林ノ保護ト云フコトニ付テモ、十分力ヲ盡サナケレバナラヌト思ヒマス、或ハ衛生ノ見地、或ハ觀光ト云フヤウナ見地カラモ十分ニ考ヘマシテ、森林ノ補植ヲ圖ルヤウニ指導致シタイト考ヘマス、特ニ必要ナ場合ニ於キマシテハ、保安林ト云フヤウナ制度モアル譯デアリマス、又觀光上特ニ重要ナ點ニ付キマシテハ、國立公園ト云フヤウナ制度モアリマシテ、是等ニ付テハ森林ノ伐採ニ付テモ特段ノ注意ヲ拂フコトニナツテ居ルノデアリマス、尙ホ觀光團體ヲ林業會ノ會員ニ入レテハドウカト云フ點デゴザイマスガ、此ノ林業ニ密接ナ關係ヲ有スル事業ニシマシテハ、コマデ入レルコト何デアラウカ、則チ此ノ方面ニ付テ分意見ヲ徵スル機會ハアリマス、林業會ノ中ニ觀光事業團體ヲ參加メルコト云フコトマデハ考ヘテ居リマスガ、他ノ方法ニ依リマシテ、十分此ノ方面トモ連絡ヲ取ツテ、遺憾ナク期シタイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○本名委員 次ニ森林ト食糧増進ノ關係デアリマスガ、林産物ノ食糧化ハ從來ニ於テ色々計畫ガアリ、又一部實施サレテ居ツタヤウデアリマスガ、先ヅ山野草ノ採集ト是ノ粉食、或ハ纖維素ノ食用化ト云フコトニ、對シ

テ、政府ハ今後ノヤウナ方針ヲ採ラ
レルカ、又は等ハ今後モ益々研究ヲ深
メシテ、所謂森林生産物ノ科學化ニ依
ル食糧確保ノ一助ヲシメル必要ガア
ラウト考ヘルノデアリマス、殊ニ果樹
ノ如キ簡單ニ生長スルモノニ對シテ
ハ、色々ナ不都合ハアルカモ知レマセ
ヌガ、之ヲ適切ニ扱ヒマスナレバ、一
般造林ト共ニ果樹林ノ造成モ亦必要デ
ハナカラウカト考ヘマス、之ニ付テハ
集荷其ノ他ノ方法ニ色々ナ不便ガアラ
ウトハ存ジマスガ、林産業者ト協力致
シマスナラバ、此ノ集荷ニ付テハ案外
容易ニ出來ルノデアリマスガ、之ニ付テ
御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○平川政府委員 山野草ノ粉食等ニ付
テハ、既に終戦直前カラ、食糧管理局
方面ニ於キマシテ實行ニ移シテ居ルノ
デアリマシテ、之ニ付テハ更に研究ヲ
進メ、モウ少シ品質ノ優秀ナモノヲ作
リ出スト云フ點ニ重點ガ置カレナケレ
バナラスト存スルノデアリマス、併シ
ナガラ更に進シテ科學的ノ處理ニ依リ
マシテ、例ヘバ現在ヤツテ居リマス團
果ノ如キ、更に此ノ處理ニ付テノ科學
的研究ガ進ミマスレバ、大益ニアルモ
ノデアリマスカラ、食糧事情上非常ニ
寄與スル所ガ大キイノデアリカト考
ヘルノデアリマス、又御話ノ果樹林等
ニ付テモ大イニ力ヲ注グベキモノト考
ヘマシテ、例ヘバ栗ノ如キ、里ニ近イ
所ニ於キマシテハ相當ニ是ガ造林ヲ圖
ツテ、食糧ニ寄與セシメルト云フコト
ガ有力デハナイカト考ヘテ居ルノデア
リマス、之ニ付テハ既に若干箇林局署
等ニ命ジマシテ、是ガ實施ヲ圖ラセテ
居ルノデアリマス、又其ノ外是ハ見返
リ物資等ニモ關係ガアリマスガ、推

ノ如キ山地ニ於テ生産スル食糧ニ付テ
モ、更に研究ヲ進メ、又普及ラシテ參
リタイ、斯様ニ考ヘマス
○本名委員 次ハ林業ノ金融對策デア
リマスガ、今日ハ大藏省關係ノ方ガ見
エナイデ保留致シタイト思ヒマス、次
ノ勞働對策ニ付キマシテモ、厚生省關
係ノ方ガ見エナイノデ保留致シマス
ガ、唯此ノ中、主管廳デアアル農林當局
ト致シマシテ特ニ御考慮願ヒタイコト
ハ、林業勞務者ノ特殊性ニ鑑ミマシ
テ、政府ハ直接是等ニ福利厚生施設ヲ
講ズル御意思ガナイカドウカト云フコ
トデアリマス、從來ノ所謂個人業者ノ
手ニ依リマシテハ、到底解決シ得ナイ
幾多ノ特殊ナ林業勞務者ニ對スル施設
ヲ要スルノデアリマスガ、是等ニ付テ
御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○平川政府委員 勞務者ノ福利施設ニ
付キマシテハ、政府ト致シマシテモ出
來ルダケ是ガ助成ヲ考ヘテ參リタイト
存スルノデアリマスガ、特ニ直接民營
事業關係ニ於キマシテ之ニ力ヲ入レテ
實ヒマスル爲ニ、今回ノ林業會或ハ林
産組合ノ共同施設ト致シマシテ、此ノ
方面ノ施設ヲ充實シテ參リタイ考ヘデ
アル譯デアリマス、尙ホ災害等ガアリ
マシタ場合ニ付キマシテ、勞働災害扶
助法ノ適用ヲ、林業勞務者ニモ致サセ
ルヤウニ本年カラ致シマシテ、是ガ普
及ヲ圖リツ、アリマスコトハ、昨日モ
申上ゲタ通りデアリマス

○本名委員 申上ゲルマデモナク、林
業勞務者ハ兼業者ガ其ノ大半ヲ占メテ
居ルノデアリマスガ、今般上程サレン
トシテ居リマス自作農創設特別措置法
ヤ、農地調整法ノ一部改正ニ依リマシ
テ、所謂兼業勞働者、主トシテ農民ガ
多イノデアリマスガ、是等ト此ノ上程

サレントスル法律トノ關係ニ於テ、今
後林業勞務ノ獲得ノ上ニ支障或ハ變化
ヲ來スヤウナコトガナイカドウカ、之
ニ付テ御考ヘテ伺ヒタイト思ヒマス
○平川政府委員 農地調整法ノ關係ニ
於キマシテ、農家ノ耕作所有面積ニ相
當ノ影響ガアラウト云フコトハ當然考
ヘラレルノデアリマスガ、林業關係ニ
從事致シテ居リマス副業勞務者ハ、多
ク山村地方ニ居ル譯デアリマシテ、隨
ヒマシテ此ノ方面ニ於キマシテハ、ド
ウ致シマシテモ、一戸當リノ耕地面積
ハ調整ヲサレマシテモ、尙且ツ比較的
僅少ナラザラ得ナイダラウト云フ風
ニ考ヘラレルノデアリマス、此ノ山村
方面ニ住居致シマス農民ガ、急速ニ所
謂自作農トシテ、山林勞働ヲ兼業トス
ル必要ガナクナルト云フコトハ考ヘラ
レナイト思ヒマス、而モ國內全體ノ人
口、或ハ農業方面、林業方面ノ人口全
體ヲ考ヘテ見マシテモ、是ハ益々殖エ
ルバカリト大體想定サレルノデアリマ
ス、今回ノ農地調整法或ハ自作農ノ創
設等ノ政策ニ依リマシテ、林業關係ノ
副業勞務者ガ專業ノ農業化スル、其ノ
爲ニ林業勞務ニ支障ヲ來スト云フガ如
キコトハ、先ヅ心配ナカラウト思ヒマ
ス

○本名委員 次ハ資材對策デアリマス
ガ、是ハ昨日モ色々御説明ヲ伺ヒマシ
タノデ省略致シマシテ、次ニ森林組合
ノ經營ノ面ニ於キマシテ、時々此ノ森
林組合ガ營利ニ傾キツ、アルト云フヤ
ウナコトヲ耳ニ致スノデアリマスガ、
組合ト致シマシテ、其ノ組合ヲ構成ス
ル組合員ノ利益ハ當然デアリマスガ、
組合自體ガ營利事業ヲ營ムコトハ法ノ
六十三條ニ反スルコトデアリマシテ、
是ハ相當ノ制約ヲナサルベキト考ヘマ
スガ、其ノコトヨリモ、森林法ノ中カ
ラ森林組合ニ關スルコトヲ創設致シマ
シテ、森林組合員ノ生産スルモノモ一
括シテ、此ノ林産組合ニ包括セシメル
ヤウナ團體法ガ欲シカッタノデアリマ
スガ、何レ近ク是等ノ理想トスル所ノ
團體法ヲ制定サレルト云フコトデアリ
マシタガ、其ノ制定ニ先ダツテ、先ヅ
其ノヤウナ森林法ノ改正ヲスル御意思
ガナイカドウカ伺ヒタイト思ヒマス
○平川政府委員 現在森林組合ノ事業
ト致シマシテ、組合員ノ諸產物ニ關ス
ル共同ノ販賣加工等ノ事業ヲ行ヒ得ル
コトニナツテ居ルノデアリマスガ、是
ハ組合自體ガ營利ノ目的トスルト云フ
譯デアリマセヌノデ、組合員ノ爲ニス
ル經濟事業ト云フコトニ相成ル譯デア
リマス、御話ノ森林組合ガ營利ニ走ツ
テ居ル云フ點ニ付キマシテハ、具體
的ナ事柄ニ付テ判斷ヲ致サナケレバナ
ラスト思ヒマスガ、現在ノ法規ノ認メ
ル範圍ニ於テ森林組合ガ活動スルコト
ハ、是ハ認メテ行カナケレバナラスト
思ヒマス、尙ホ根本的ナ林業團體ニ關
スル法制ノ出來マスル前ニ、是等點
ニ付テノ森林法ノ改正ヲ出スト云フ考
ヘハゴザイマセヌ

○本名委員 次ハ從來古カラ地方ニ
アリマシタ森林會ハ、其ノ後トノヤ
ウナ動キヲシテ居リマスガ、法律ガア
ルカラニハ存置スルコトハ思ヒマス
ガ、大體ニ於テ性格ハ特殊ナ性格ヲ持
ツテ居ルノデアリマスガ、之ヲ此ノ林
業會法ニ包含セシムルヤウナ御意圖ハ
ナイカドウカ伺ヒタイト思ヒマス
○平川政府委員 地方森林會ハ保安林
ノ編入解除、或ハ森林法上ノ各種ノ裁
決ヲ致ス爲ニ特ニ設ケラレタ機關デア
リマシテ、是等ノ事項ガ官僚獨善的

ニ行ハレルコトヲ防グマス爲ニ作ラレ
マシタ機關デアリマス、隨ヒマシテ今
回提案ヲ致シテ居リマス林産組合、或
ハ林業會ト云フヤウナ、林業關係者ノ
自主的ナ組織ト云フモノトハ性質ヲ異
ニ致シマスルノデ、是ヲ一ツノ法律ニ
纏メルコトハ困難デナカラウカ、是ハ
只今申シマシタヤウナ性質ノ會デアリ
マスカラ、一種ノ委員會ノヤウナモノ
デアリマシテ、是等ノ事件ニ付テ其ノ
都度仕事ヲ致シテ居ル譯デアリマス
○本名委員 次ニ官行所伐ニ付テ御伺
ヒ致シタイノデアリマスガ、此ノコト
ニ付テハ既に氏原委員モ、必ズシモ生
産「コスト」ガ安クナイ官行事業ヲ、今
何デ繼續シナケレバナナイカト云
フコトヲ指摘サレマシタガ、私ハ官行
事業ニ對スル強力ナ反對ノ意見ヲ持ツ
一人デアリマス、森林ノ育成増進ニ付
テノ結局ノ理想ト致シマシテハ、今後
ハ森林ノ伐採事業ハ或ハ國營ニ依ルコ
トガ理想デアアルカモ知レマセヌガ、現
在ノ林産事情カラ申シマシテモ、或ハ
又官行事業其ノモノノ内容カラ申シマ
シテモ、實際現在行ツテ居リマスル選
營ノ内容カラ申シマシテモ、必ズシモ
官行所伐事業ガ理想ノモノデアルトハ
考ヘラレナイノデアリマス、此ノ一例
ヲ申上ゲマスナラバ、官行所伐事業ノ
最モ大キキ目的ト致シマス所ノ森林ノ
育成ト云フコトニ於キマシテモ、實際
ノ事情ハ、育成ニアラズシテ寧ロ濫
伐、或ハ障礙トナツテ居ル點ガ澤山ア
ルノデアリマス
(委員長退席平野委員長代理登壇)
ソレハ寧ロ民衆ヨリモ時間的ニ、或ハ
量的ニ非常ニ無理ラシテ居ルト云フコ
トデアリマス、此ノヤウナ國營事業ハ
私共ハ絕對賛成スルコトハ出來ナイノ

キタイト考ヘマス、之ニ付テノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○平川政府委員 地区組合ノ意見ヲ微スルト云フコトハ、地方長官ノ態度ト致シマシテ、實際問題トシテハ相當ニ行ハレドラウト考ヘマスルガ、併シ

規則ノ上ニ於テ之ヲ微サナケレバナラヌト云フコトニナリマス、逆ニ新タニ事業ヲ始メヨウトスル人ガ、既存ノ業者ノ意見ノ爲ニ入レナイト云フ弊害モアルノデハナイカ、勿論業者ノ意見ヲ十分ニ微スルト云フコトハ官廳トシテハ當然ノ態度ト思ヒマス、併シソレカト言ツテソレ等ノ人ノ意見ニ拘束サレテ、新シク入ル人ガ不當ノ壓迫ヲ受ケル、サウ云フ意味ニ於テ規則ニ於テハ業者ノ意見ヲ微サナクトモ宜イコトニシタノデアリマス

○本名委員 新シイ業者が壓迫ヲ受ケル爲ニ組合ノ副申ヲ必要トシナイト云フコトハ、道ニ新シイ人ニ企業ヲ認メテモ宜イト考ヘラレルノデアリマスガ、實ハ弊害ト申シタノハ其ノ點ニアルノデアリマス、限リアル山林ヲ無限ノ業者ガ買取ルニ由リテ山林ノ特色ニ組合ノ内、ヒガ生ズル、ト云フコト、實ニイ業者ガ出來、ト云フコト、實ニ合ノ運営ノ上ニ非常ニ嚴密ヲ生ズルコトニナルノデアリマス、隨テ何處マデモ此ノ新シイ許可ト云フモノハ、組合

ノ運営ヲ中心トシテ考ヘテ、支障ナイ
限り認可スルコトガ最も宜イノデアリ
マシテ、官廳ガ勝手ニ認可スルト云フ
ヤウナ制度ハ最も非民主的ナ方法デナ
イカト思ヒマス、此ノ點ニ付テモウ一
度御意見ヲ承ハリタイト思ヒマス

○平川政府委員 本案ノ考ヘ方ト致シマ
シテ、企業許可ハ出來得ル限り速力ニ擔

廢ヲ致シタイ、寧ろ誰デモ希望者ガ事
業ガ出來ル機會ノ來ルコトヲ希望致シ
テ居ルノデアリマシテ、其ノ經過的ノ
措置ト致シマシテ、自治統制ヲ行フ爲
ニ此ノ條文ヲ置イタルデアリマス、隨
ヒマシテ只今御話ノヤウナ、組合ノ存
立ノ爲ニ適シ新シイ企業ノ許可ヲ制限
スル、組合ノ立場カラ云ツテ寧ろ制限
的ニ出ルコト云フコトハ、此ノ企業許可
ト云フモノヲ成ベク早ク撤廢致スト云
フ考ヘ方ト、衝突ヲ致スコトニナリハ
シナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマ
シテ、出來得ル限リ早ク自由ニ致シタ
イト云フ考ヘ方カラ致シマシテ、此ノ
許可ニ付テハ成ベク拘束ヲ少クシテ置
キタイト云フ考ヘ方デアリマス

○本名委員 次ハ第九十一條ノ社團法
人日本林業會ノ權利義務ノ繼承ニ付テ
伺ヒタイノデアリマス、此ノ前ノ條文
ニハ、林産組合ガ既存ノ認可組合ヲ繼
承スルコトガ出來ルト云フコトデアリ
マス、洵ニ當然ナコトデアリマシテ、
私共ハ其ノ手續ノ簡易ナコトヲ喜ブノ
デアリマスガ、同時ニ社團法人日本林
業會ノ繼承モ、是ハ當然必要デアラウ
ト私共ハ考ヘテ居タルデアリマス
ガ、先般資料ヲ拜見致シマシテ、社團
法人日本林業會ノ内容ヲ能ク檢討致シ
テ見マシタ所ガ、下ノ角度カラ眺メマ
シテモ、是ハ新シイ林業會ガ繼承スベ
キ理由ガ下ノコトモ見出セナイ、先般ノ
御答辯ノ中ニハ、非常ニ便利ダカラト
云フヤウナ御話ガアリマシタガ、私ハ
逆ニ之ヲ繼承スルコトハ、新シク生レ
タ林業會ガ非常ニ不便ヲ感ズルノデア
リカト云フ風ニ思ハレルノデアリマス
スガ、政府ハ法的ナ根據ガアツテ之ヲ
繼承スベキモノトシタノカ、或ハ單ニ
既存ノモノヲ繼承スルコトガ便宜デア

ルト云フ點カラノミ此ノ條文ヲ作ラレ
タノカ、モウ一度御伺ヒシタイと思ヒ
マス

○平川政府委員 現在ノ社團法人日本
林業會ト云フモノハ、今回ノ日本林業
會トハ性質ハ全く異リマスケレドモ、
併シ元來是ハ日本ノ林業、殊ニ森林所
有者ト林産業者トノ調整、調和ヲ圖
リ、ソレニ依ツテ林業ノ改良發達、或
ハ林産物ノ増進ヲ圖ルコト云フヤウナ目
的ニ於テハ似通ツテ居ルノデアリマシ
テ、是ガ爲ニ政府ト致シマシテモ相當
額ノ助成ヲ致シマシテ、事業ヲ行ハセ
テ參ツタルデアリマス、サウ云フ意味
ニ於キマシテ、今回ノ日本林業會ガ成
立致シマスル場合ニ、折角政府ガ注ギ
込ミマシタ助成金ヲ以テ、相當ノ資產
ヲ有スル日本林業會ト云フモノヲ、財
產的ニ解體ヲ致シテ清算ラシテ、又新
タニ資金ヲ集メルト云フコトヨリハ、
現在持ツテ居ル資產等ヲ其ノ儘引繼
グト云フコトノ方ガ合理的デアラウト云
フ意味ニ於テ、此ノ條文ヲ置イタル譯デ
アリマス

○本名委員 大體御説明ハ前カラ伺ッ
タノト同ジヤウデアリマスガ、先ヅ此
ノ内容ニ付テ政府ハモウ一度檢討シテ
見ル必要ガアラウト思ヒマス、此ノ處
大ニ決算書面ニ依リ數字ヲ眺メル時
ニ、今後ノ是等ノ經營ガ果シテ新シイ
林業會ガ快ク引繼ギ得ルモノデアルカ
ドウカ、而モ戰時中ニ假令政府ノ補助
ガアリトハ言ヘ、全く非民主的ナ動機
カラ設立サレタ林業會ヲ、民主的デア
ラネバナラス新シイ林業會ニ引繼グ理
由ハ何處ニモ見當ラナイノデアリマス
、更ニ又資產ヲ繼承スルコトニ依ッ
テ非常ニ便宜デアルト言ハレルガ、ア
ノ決算ノ内容カラ行キマシテモ、資產

ノ中ニハ我々ノ簡單ニハ了解出來ナイ
ヤウナ、或ハ又今後ノ經理ニ於テ果シ
テ是等ガ解決、決濟出來得ルカト云フ
ヤウナ疑問サヘルノデアリマス、斯
ウ云ツタ不明朗ナ氣分ノ下ニ置カレ
ル社團法人日本林業會ハ、私ハ繼承ス
ルノ必要ハナイト考ヘルノデアリマス、
之ニ付テモウ一度伺ヒシタイと思ヒマ
ス

○平川政府委員 現在ノ社團法人日本
林業會ハ、終戰直前ノ頃ニ出來マシタ
モノデアリマシテ、其ノ後終戰ト共ニ
其ノ機構モ改組致シマシテ、役員ノ選
出方法ナリ、其ノ他定款ヲ御覽願ヒマ
スト分リマスヤウニ、頗ル民主的ニ改
組致シテ居ルノデアリマス、官廳ノ方
ハ、之ニ對シマシテハ特別ニ所謂官僚
的ナ手ヲ加ヘテ居ラナイノデアリマシ
テ、又其ノ仕事ニ致シマシテモ、特ニ
日本、地木ノ如キモノトハ違ヒマシ
テ、所謂戰時中ニ官治統制式ノモノヲ
行ツタト云フヤウナ性質ノモノデハナ
イノデアリマス、又其ノ資產内容ニ付
キマシテハ、色々御疑問モアラレルヤ
ウデアリマスガ、政府ト致シマシテハ
一應是ノ監査ヲ致シマシテ、内容ハ宜
シイト、斯樣ニ判斷ヲ致シタルデアリ
マス

○本名委員 政府ニハ御自信ガアルヤ
ウデアリマス、私共ハ政府ノ御考ヘニ
ナル通りニ圓滿ニ此ノ林業會ガ、社團
法人日本林業會ヲ引繼グコトガ出來ル
ナラバ非常ニ幸ヒト考ヘテ居リマス、
併シナガラ一面、又我々ノ簡單ニ納得
出來ナイヤウナ點ノアルコトヲ、非常
ニ遺憾ニ在ズルノデアリマス、此ノ點
ニ付テハ又後デ詳シク御伺ヒ致シタイ
ト思ヒマス、大體長イ間私一人デ時間
ヲ占領致シマシタガ、一應前ニ保留致
シマシタ分ヲ除イテ、是デ一先ヅ質疑

ヲ打切りタイト思ヒマス
○平野委員長代理 通告順ニ依リマシ
テの場君ニ質問ヲ許シマス
○的場委員 私人大臣ニ二、三御尋ネ
シタイコトガアルノデアリマスガ、今
日ハ御見エニナリマセヌデセウカラ、
其ノ問題ハ後御進ニシテ、大臣ニ御尋
ネスル以外ノ問題ニ付テ二、三御尋ネ
致シマス、是ハ前ニモ質問ガアツタ問
題デアリマスガ、モウ少シ御伺ヒシタ
イノデ、重ナリマスケレドモ御願ヒ申
上ゲマス、種苗ノ問題デアリマス、ド
ナタカ種苗ヲ國營トシテヤル、林木
ノ苗木ヲ國營デ育テル意思ハナイカト
云フヤウナ質問モ前ニアツタヤウデア
リマスガ、私共ガ今日此ノ濫伐、過伐
サレマシタ林地ヲ元ニ復シテ、立派ナ
林相ヲ持テルヤウニ回復致シマスノニ
ハ、非常ナ困難ガアルヤウニ思フノデ
アリマス、從前ハ農山村ノ人達ハ、山
ヲ育アル仕事ヲ非常ニ樂シミ致シマ
シテ、犬モ通ラヌヤウナ藪ヲ伐リ拓イ
テ、多年苦心努力ヲシテ苗木ヲ育テ、
山ヲ植込シテ、毎年相當ノ手入ヲシ
テ、數十年掛ツテ立派ナ山ニ育テ上ゲ
テ來ル、我ガ子ヲ育テルヤウニ山ヲ可
愛ガツテ來タモノデアリマス、所ガ最
近ニ至リマシテ實ニ亂暴ニ——私ハ鹿
兒島デアリマスガ、鹿兒島地方ナド
ハ、軍隊ガ入り込ミマシテ無茶苦茶ニ
山ヲ伐ツテ、山ノ中ニ兵舎ヲ建デタ
リ、木ヲ伐ツテ捨テタリ、無茶ニ陣地
ヲ拵ヘタリヤツタノデ、數十年掛ツテ
育テ上ゲタ山ハ、今ハ木ヲ伐ラレタダ
ケデナシニ、穿ヅクリ返サレテ居ル實
情ニアリマス、而モ又之ヲ賣買スル
ニシマシテモ、林木ノ價格ハ非常ニ安
イノデ、山ノ木ヲ育テタ人ノ取り分ハ
非常ニ安クテ、數十年モ育テ上ゲタモ

ノハ實ニ安ク買取ラレテ、之ヲ賣ツテ
商ヒニスル林産業者ガ過分ナ大儲ケヲ
スルト云フノガ現状デアリマス、隨テ
山ヲ育テル者ハ、從前ノヤウニ山ヲ大
事ニスル、山ト云フモノガ有難イモノ
デアルト云フヤウナ感ジガナクナツテ
居リマス、而モ苗木ノ値段ハ一本ガ五
十錢以上、良イモノハ一圓モスル、斯
ウ云フ高イ苗木ヲ買ウテ、而モ今無茶
苦茶ニ荒サレタ山ヲ、元ニ復舊シヨウ
ト云フ意欲ガナクナツテ居ル現状デゴ
ザイマスカラ、私達ハ、此ノ際ハ一ツ
國ノ力デ種ナリ苗木ナリヲ育テテ、無
償デ是等ノ荒サレタ山ニ植エル、植エ
ルコトハ山ノ所有者ガ植エルニシテ
モ、苗木位ハ無償デ提供スベキモノデ
ハナイカト思ヒマス、今ハ陸軍省ハ海
軍省ハナイノデ、サウ云フ所ヘ文句ヲ
言ツテモ仕方ガゴザイマセヌガ、農
林省アタリデ林木ノ苗木ヲ育テテ、無
償デ配給スルコトガ此ノ際最モ必要ナ
コトデアルト思フノデアリマス、餘程
獎勵ヲ致シテ造林ノ意欲ヲ昂揚スルコ
トニ努メマセムト、前ノヤウナ速度デ
ハ山ハ復舊ヲシテ行キマセヌ、一面ニ
ハ山ヲ伐ル方ハ從前ヨリモ多ク必要
トスルコトニナツテ居リマスノデ、伐
ル方ハ多ク、育テル方ハ進マナイト云
フコトニナレバ益々我ガ國ノ山ハ禿山
ニナル、山ガ禿山ニナルト云フコト
ハ、其ノ爲ニ川ガ荒レ、美田ガ荒サレ
ルコトニナリマス、今國有林野ノ中
ノ、耕地ニ適當ナ所ハ之ヲ開墾ヲシテ
耕地ニシテ、移住ヲスルト云フヤウナ
御計畫ニ農林省ハオツテ居ルヤウデア
リマスガ、山ノ、耕地トシテ不適當ナ
所ヲ開拓スルコトヨリモ、現在美田デ
アル所ヲ保護シテ行クコトノ方ガ大事
デハナイカ、其ノ意味ニ於テ、私共ハ

成べく早く荒廢林ヲ復舊シナケレバナ
ラナイ、其ノ爲ニ苗木ヲ國營デ育テ
テ、無償配付ヲシテ栽キ、今補助ニ
ナツテ居ル補助額ハ増額スルト云フ
タヤウナコトニシテ、モウ少シ積極
ニ御考ヘ願フ方宜イノデハナイカト
思ヒマス、種子ダケハ管林署ノ方デヤ
ラセルガ、苗木ハ民間デヤラセルト云
フヤウナ御話ノヤウデアリマスガ、此
ノ點デモウ少シ——今年ドウト云フコ
トガ出来ナケレバ、近い將來ニサウ云
フ風ニオヤリニナルヤウテ御意思ハナ
イモノデアリマスガ、御伺ヒテ致シマ
ス

○中尾政府委員 御意見ハ洵ニ御尤モ
ト存ズルノデアリマスガ、此ノ種苗ノ
養成ノコトニ付キマシテハ、只今御話
ノ點デ一部御考ヘ還ヒモアルヤウデア
リマスカラ、更ニ申上ゲマスガ、種子
ノ方ハ、是モ今早速、本年度カラ全部
ト云フ譯デハアリマセマ、出来ルダ
ケ國ノ方デ之ヲ採取シテ行キタイト云
フ考ヘハ持ツテ居リマス、尙苗木ノ
方ハ先般申上ゲマシタ通りニ、一時
ニ國營ニ直スト云フコトハ非常ニ困難
ヲ伴ヒマスシ、出来ルダケノコトヲ差
當リ實施シヨウト思ヒマシテ、本年度
カラ一年生トシテ約三億萬本ノ數量ヲ
民間ノ方ニ委譲スルヤウナ計畫ヲ立テ
マシテ、是ハ早速管林署ノ方デ實行ス
ルコトニ致シテ居リマス、種苗ノ方ヲ
全部國營ニスルカドウカト云フコトニ
付キマシテハ、尙今後相當研究シテ
カラ決定致シタイト考ヘテ居リマス

○的場委員 今日、林木ノ最も遺憾ノ
便利ナ里山ト云ヒマスガ、山麓地帯ノ
森林ガ非常ニ無理ニ伐採ヲサレテ居リ
マスノニ、一面奥地林ノ方ハ立派ナ木
ガアツテモ、是ハ活用ガ出来ナイ事情
ニゴザイマス、是ハ林道ガナイ、交通
ノ便利ガ惡イト云フヤウナコトデ、或
ル地方ハ非常ニ過伐ガ行ハレテ、林地
ガ荒廢シテ居ルノニ、或ル地方ニハ折
角立派ナ木ガアリマスケレドモ、其ノ
林木ガ腐レ果テテ居ルト云フ實情ニアル
コトハ、御承知ノ通りデアリマスガ、
此ノ奥地林ヲ或ル程度利用スルコトニ
依ツテ、今荒廢シ掛ケテ居ル山麓地帯
ノ山ヲ、急ニ元ニ復サスコトガ出来ル
デアラウト思ヒマス、或ル程度便利ナ
地帯ノ林地ヲ休養サセル意味ニ於テ、
奥地林ノ活用ヲ此ノ際ヤラナケレバ、
過伐ニナツテ居ル、荒廢シテ居ル林地
ハ、常ニ益々荒廢サセナケレバナラナ
イヤウナ實情ニアルノデハナイカト思
ヒマスガ、此ノ奥地林ノ利用ヲスル爲
ニ、林道ト云フモノガ、モウ少シ國デ
御考ヘ願ハナケレバナラナイ問題ダラ
ウト思ヒマス、此ノコトニ付テハ御計
畫モアルコトト思ヒマスガ、此ノ際一
ツ、今マデノヤウナヤリ口デナシニ、
日本ノ山ノ全體ヲ立派ニスルト云フ意
味ニ於テ、奥地林ノ活用、其ノ爲ノ林
道、或ハレールヲ敷イテ「トロッコ
デ」引出サユウナ、林道、其ノ他ノ設備
ヲ良クスルト云フコトニ、モウ少シ國
トシテ力ヲ入ラレル必要ガアルト思
フノデアリマス、之ニ付テハドウ云フ
御計畫デ進ンデ居ラレノカ、其ノ邊
ノ所ヲ一ツ御伺ヒ致シタイ

○中尾政府委員 御意見洵ニ御尤モト
存ズル次第デアリマスガ、政府ニ於キ
マシテモ、此ノ奥地林分ノ開發ニ付キ
マシテハ、本年度カラ相當ノ事業ヲ豫
定致シマシテ、既に實行中デアアルノ
アリマス、里山ノ荒廢ニ付キマシテ
ハ、是ハ戰時中ノ大ナル利用ヲ充足
致シマス爲ニ、而モ戰時中デ勞務或ハ
運搬力ノ低下ト云フヤウナ關係モア
リ、一方戰爭遂行上急遽ニ貼ハナケレ
バナラナイト云フヤウナ關係デ、里山
ノ方ガ相當ニ過伐ニナツテ居ルノハ御
説ノ通りデアリマス、ソコデ本年度カ
ラ、政府ニ於キマシテハ奥地林分ノ開
發ニ主力ヲ置キマシテ、特ニ林道網ノ
完成ヲ圖ルコトニ努力ヲ致シテ居リマ
スガ、其ノ中デモ特ニ此ノ奥地林分ノ
開發ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマ
ス、豫算ノニ申上ゲマシテモ、國有
林、民有林ヲ通ジマシテ、林道約二
億萬圓以上ノ經費ヲ豫算ヲ計上致シテ
居ルノデアリマス、其ノ中奥地林分ノ
方ハ國有林約五百六十「キロ」、民有
林約千七百二十四「キロ」ノ延長ヲ豫定
シテ居リマシテ、此ノ經費モ約八千
五百萬圓程度ノモノヲ以テ、奥地林分
ノ開發ニ著手致シテ居ル次第デアリマ
ス

○的場委員 次ニ御伺ヒ致シマスコト
ハ、材木ノ價格ノ問題デアリマスガ、
林木ハ値段段ガ安過ぎテ、木材ハ高過ギ
ルト云フノガ今日ノ現状デアリマス、
此ノ山ニ育ツテ居ル木ハ非常ニ安く買
ハレテ、戰災都市ノ復興ニ使ツテ居ル
木材ガ非常ニ高價段デ振ハレテ居ル
ト云フ、其ノ中間ノ經緯ハドウ云フ風
ニナツテ居ルモノデゴザイマスガ、素
材、製材ノ各一石當リノ値段モ、私共
承知シマセマカラ御示シ願ヒタイト思
ヒマスガ、サウ云フ農村、山村ニ於ケ
ル山ヲ育テ人達ハ、現在ノ林木ノ價
格ハ、此ノ木ハドレダケノ價
モノデアリ、之ヲ製材スレバド
ノ材木ガ出来、値段ノモノニナルノ
ト云フ、サウ云フ即ち「トイ」
マス、其ノ無知
ニシテ、今マデノ
ガ、無謀ナル利潤ヲ取ツテ林木ヲ取扱
ツテ居ルト云フコトガ、私共ハ我が國
ノ山ヲ良クスル上ニ非常ナ障礙トナツ
テ居ルト思ヒマスノデ、ドウ云フ取扱
ヒニナツテサウ云フコトニナルノカ、
此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○中尾政府委員 價格ハ大體杉デ、一
番只今数量ノ多ク取扱ハレテ居ル六
寸、七寸ト云フ寸形ノモノデアリマス
ガ、其ノ長サ十二尺ノモノデ只今公定
價格ハ六十一圓位ニ相成ツテ居ルノデ
アリマス、製材ハ約百十圓程度ニ相成
ツテ居ルノデアリマス、此ノ價格ノ基
礎ト致シマシテハ、價格計算上私等ガ
考ヘテ居リマス、立木ノ値段ト云フモ
ノハ、大體先般二十四、五圓程度ニ計
算ハ致シテ居ルノデアリマス、只今御
話ノ公用材等ニ使ハレテ居ル價格ハ、
只今申上ゲマシタ價格ヨリモ遙ニ高價
閣價格ノ取引デヤナイカト云フ風ニ考
ヘラレルノデアリマス、立木ノ價格ヲ
決定致シマスノハ、只今ノ所ハ使用價
格カラ逆算致シマシテ、立木ノ價格ヲ
出スコトニ相成ツテ居ルノデアリマス
ガ、色々之ニハ議論モアリマスシ、又
幾分缺點モアルカト思ヒマスガ、此ノ
立木ノ價格ノ決定ニ付キマシテハ、只
今色々考慮ヲ致シテ居ルノデアリマ
ス、何ト申シマシテモ、日本ノヤウナ
地形ノ複雑ナ林地ニ於キマシテ、此ノ
立木ノ適正價格ヲ決メルコトハ非常ニ
技術的ニ困難ヲ伴ヒマスノデ、中々容
易デハナイト思フノデアリマスケレド

モ、只今色々考慮ヲ致シテ居リマス
○的場委員 是ハ私共ノ考ヘデゴザイ
、先般申上ゲマスヤウニ、木

○中尾政府委員 只今御尋ネノ指導ノ
コトニ付キマシテハ、從來トモ管林局
等ニ於キマシテハ、民有林ノ管林指導ト
致シマシテ、色々ナ材積ノ調査モシ、

○中尾政府委員 只今御尋ネノ指導ノ
コトニ付キマシテハ、從來トモ管林局
等ニ於キマシテハ、民有林ノ管林指導ト
致シマシテ、色々ナ材積ノ調査モシ、

○中尾政府委員 只今御尋ネノ指導ノ
コトニ付キマシテハ、從來トモ管林局
等ニ於キマシテハ、民有林ノ管林指導ト
致シマシテ、色々ナ材積ノ調査モシ、

○中尾政府委員 只今御尋ネノ指導ノ
コトニ付キマシテハ、從來トモ管林局
等ニ於キマシテハ、民有林ノ管林指導ト
致シマシテ、色々ナ材積ノ調査モシ、

○中尾政府委員 只今御尋ネノ指導ノ
コトニ付キマシテハ、從來トモ管林局
等ニ於キマシテハ、民有林ノ管林指導ト
致シマシテ、色々ナ材積ノ調査モシ、

○中尾政府委員 只今御尋ネノ指導ノ
コトニ付キマシテハ、從來トモ管林局
等ニ於キマシテハ、民有林ノ管林指導ト
致シマシテ、色々ナ材積ノ調査モシ、

○中尾政府委員 只今御尋ネノ指導ノ
コトニ付キマシテハ、從來トモ管林局
等ニ於キマシテハ、民有林ノ管林指導ト
致シマシテ、色々ナ材積ノ調査モシ、

○中尾政府委員 只今御尋ネノ指導ノ
コトニ付キマシテハ、從來トモ管林局
等ニ於キマシテハ、民有林ノ管林指導ト
致シマシテ、色々ナ材積ノ調査モシ、

○中尾政府委員 只今御尋ネノ指導ノ
コトニ付キマシテハ、從來トモ管林局
等ニ於キマシテハ、民有林ノ管林指導ト
致シマシテ、色々ナ材積ノ調査モシ、

○中尾政府委員 只今御尋ネノ指導ノ
コトニ付キマシテハ、從來トモ管林局
等ニ於キマシテハ、民有林ノ管林指導ト
致シマシテ、色々ナ材積ノ調査モシ、

○中尾政府委員 只今御尋ネノ指導ノ
コトニ付キマシテハ、從來トモ管林局
等ニ於キマシテハ、民有林ノ管林指導ト
致シマシテ、色々ナ材積ノ調査モシ、

又價格ノ決定モスルヤウナコトニ致シマシテ、指導ハ致シテ來タノデアリマスガ、戰時中相當多忙ヲ極メマシタ爲ニ、最近デハ中々思フ通り指導モ行ツテ居ナイコトと思ヒマス、併シ本案ガ通過致シマシタ曉ハ、本案ニ於テモ此ノ價格ノ統制等ノ役目ヲ持ツテ居リマスシ、林業會或ハ森林組合等ノ活動ニ依リマシテ、此ノ價格ノ方ニ付テノ指導モ致スヤウニ指導シテ行キタイと思ヒマス

○的場委員 其ノ御指導ハヤハリ森林署ヲ以テ行ハサセル御指定ナノデスカ、組合、團體等ヲシテ何カ組織のニ指導ノ方法ヲ御執リニナルデアリマスカ、或ハ又縣廳ヲ通ジテ役所デ御指導ニナルノデスカ、其ノ邊ノ御考ヘヲ御伺ヒタイノデアリマス

○中尾政府委員 只今モ申上ゲマシタ通り、森林署ニ於テ指導致スノハ勿論デアリマスガ、更ニ縣ニ於テモ指導致スコトト思ヒマスシ、更ニ又新シク出來マス團體ノ林業會並ニ森林組合、森林組合聯合會ト云フ方ニ於キマシテ、此ノ價格ノ指導ヲ致サセルヤウニ指導シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○的場委員 從來モ形ノ上デハサウ云フ指導ヲナスコトニハサツテ居ルト思ヒマス、ケレドモサウ云フコトニハ殆ド手が付カナイ、是ハ戰争前ニ於テモ戰争後ニ於テモ同様デアリマス、是ハ營林署ノ方ノ指導ニシテモ、縣廳ノ指導ニシテモ、團體ノ指導モ同様デアリマスガ、殆ド其ノ名ノミデアツテ、實際指導ニハ手ハ付イテ居ナイ、ダカラモウ少シ徹底シテ指導ヲシマスノニハ、今マデノ御考ヘデナシニ、少シ變ツタ點ニ重點ヲ置キ御考ヘヲ以テ御指導ヲ願ハナケレバ、營林署ガヤルコト

ガ當リ前ニナツテ居ルシ、縣廳ガヤルコトモ當リ前ニナツテ居ルケレドモ、其ノ當リ前ニナツテ居ルコトガ實行サレナイカラ何ニモナラナイノデ、此ノ點ハ一ツモウ少シ徹底のニ御考ヘニナルコトヲ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス、ソシテ今度出來マス團體ニモ、サウ云フ方面ノコトヲ重點ニシテ、造林家ノ保護、造林家ノ指導獎勵ト云フコトニ重點ヲ置クベキモノデアルト云フコトヲ、私共ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

其ノ次ニ御伺ヒ致シマスコトハ、大臣ノ指定サレマスモノハ是ハ何々デゴザイマスカ、既ニ御教ヘヲ戴イタカモ知レマセヌガ、私毎日出ルコトガ出來マセヌデシタノデ、大臣ノ指定サレルモノノ種目ヲ御教ヘ願ヒタイと思ヒマス

○平川政府委員 的場サンニ申上ゲマスガ、モウ其ノ點ハ既ニ何回モ質問ガアツテ、速記録ガ早く御手許ニ渡ラナイノデ已ムヲ得マセヌガ、或ハ御缺席ニナツテ居ツテ御分リニナラナイカモ知レマセヌガ、兎ニ角十分ニ質問濟ミデアリマス、併シ折角ノ御質問デスカラ許シマスカラ、ドウゾ御答辯ヲ願ヒマス

○平川政府委員 蓋當リハ、此處ニアリマス木材以外ニ指定スルモノト致シマシテハ考ヘテ居リマセヌガ、薪炭ニ付キマシテハ、特ニ出來得ル限り早イ機會ニ是ガ指定ヲ致スヤウニ致シタイ、併シ之ニ付キマシテハ尙ホ色々問題モアリマスノデ、關係方面ト十分打合せヲ致シマシタ上デ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、其ノ他ノ各種ノ特殊ナ林産物ガゴザイマス、竹材デアルトカ、椎茸デアルトカ、色々ナモノガ

ゴザイマス、是等ニ付キマシテハ、現在ノ所直チニ指定スル考ヘハゴザイマセヌガ、將來ノ研究ニ俟ツテ、逐次必要ニ應ジテ指定モ致シタイト云フコトニ考ヘテ居リマス

○的場委員 此ノ指定ノ問題ニ付テハ、前ニ色々質問ガアツタコトモ幾ラカ承知モ致シテ居リマスガ、私共少シ考ヘガ違ヒマスノデ、私共ノ考ヘヲ申上ゲテ御參考ヲ資シタイと思ヒマス、薪炭ハ成ベク早イ機會ニ指定ヲスルト云フ政府ノ方針ノヤウデゴザイマスガ、私共ハ薪炭ニ付テハ其ノ指定ヲオ急ギニナル必要ハチツトモ認メテ居リマセヌ、薪炭、特ニ木炭ニ付キマシテハ、木炭ノ製造ハ專門家ノ木炭業者ガ製造スルモノモゴザイマスカレドモ、農村ノ人達ガ、山ニ近イ農村ハ耕地ガ狭イノデ、農耕デケラ以テシテハ生活ハ出來ナイノデアリマス、ソコデ

山ニ近イ農村ノ人達ハ、半分ハ田畑ニ依ツテ衣食ヲシ、半分ハ山林ニ依ツテ其ノ生計ヲ營ンデ居ルデアリマス、其ノ半分農耕ニ依リ、半分山林業ニ依ツテ生計ヲ營ム山ニ近イ農村ノ人達ハ、木炭ヲ製造スル者ガ其ノ大部分デアリマス、隨テ此ノ農村ノ人達ノ製造スル木炭モ、其ノ儘放置シテ置キ譯ニ行キマセヌノデ、其ノ地方々々ノ農業會ハ多年倉庫ヲ作ツタリ、道ヲ開イタルシテ、出來マシタ木炭ガ停車場ニ下ルヤウナ道路ヲ開鑿シ、或ハ倉庫ヲ作ツテ、多年之ニハ苦心努力ヲ致シマシテ、今日サシタル不都合ノナイヤウニ木炭ハ取扱ハレテ居ルト思ヒマス、又薪ニ致シマシテモ、道ナキ所ニ道ヲ開ケ、搬送ガ出來ルヤウニ致シマシテ、町ノ方ニ薪炭ヲ運ブヤウニシテ居ルハ、是ハ農業會ガ從來農會時代ヨリヤ

ツタ、農村團體ガ取扱ツテ來テ居ルノデゴザイマスカラ、ソレヲ今更別ナ團體ノ方ヘ持ツテ行カナクとも、私ハ宜イダラウトと思ヒマス、多年道路ヲ造ツタリ倉庫ヲ造ツタリシテ苦心シタモノヲ、今暫ク取ラレラヤウニシテ別ナ團體ヘ持ツテ行カレコトハ、私ハ從來取扱ツタ農村團體ハ困ララウ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、薪炭ニ付テハ其ノ取扱ヲ御急ギニナラナクテモ、モウ少シ能ク研究シテ戴イテ、場所ニ依ツテハ從來ノ團體ニ扱ハシタ方ガ便利デアリシ、統制ガ能ク執レルノデハナイカト思フノデアリマスガ、其ノ點如何デゴザイマスカ

○平川政府委員 サウ云フ各種ノ問題ガアリマス爲ニ、薪炭ニ付キマシテハ尙ホ留保ヲスルト云フ態度ヲ執ツタ譯デアリマス、併シナガラ薪炭ガ林産物ノ最重要ナルモノノ一ツデアルト云フコトハ疑ヒナイノデアリマシテ、一面ニ於テ企業のニ製炭ヲ致シテ居ルノモアル譯デアリマス、又原木ノ問題ニ致シマシテモ、何等カ他トノ調整ヲ圖ル必要ガアルノデアリマスカラ、御話ノ如ク、從來致ツテ居リマシタ農業會ヲ今直チニ是カラ引離シテ、副業製炭ノ今マデ之ヲ他ニ扱ハセルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、唯重要ナル林産物ノ一ツデアル所ノ薪炭ト云フモノニ付テ、是ガ原木ノ所有者又是ガ生産者ト云フモノノ間ノ調整ヲ圖ル、又他ノ林産物ノ生産トノ調整ヲ圖ルト云フヤウナコトハ、何等カノ形ニ於テスベキコトデアラウト考ヘマスノデ、御話ノヤウナ點モ十分考慮致シマシタ上デ、非難ノナイヤウナ方法ニ於テ本法ニ參加セシメタイ、斯様ニ考ヘル

ノデアリマシテ、本法ニ假ニ指定ヲセラレタト致シマシテモ、現在農業會ノ取扱ツテ居リマス副業製炭事業ガ、他ノ團體ニ移ツテシマフト云フコトニハラナイノデアリマス、例ヘバ農業會ガソレ自體トシテ林業會ニ參加スルト云フヤウナ方法モ考ヘラレルノデアリマスガ、是ガ參加ノ具體的方法ニ付キマシテハ、色々ト方法ガアル譯デアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ十分關係ノ方面ト協議ヲ致シマシテ、意見ノ一致ヲ見マシタ上デ指定ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○的場委員 大變御親切ナ御考ヘノヤウデゴザイマスノデ、私共モ一應安心ヲ致ス次第デアリマスガ、特ニ半分農耕半分山デ暮ス農村地帯ト云フモノニ付テハ、中央ニ於テハ認識ガ薄イヤウデアリマス、デアリマスカラ地方ノ實情ガハツキリシナイコトガ大變多イダラウト思ヒマスノデ、是等ノ問題ニ付テハ、地方ノ者ノ意見モ御聽キ下サルヤウナ組織ニ依ツテ、一ツ御檢討願ヒタイと思ヒマス、地方ノ實情ガ分ラナイデ、中央御考ヘニナツタコトダケデ御取扱ヒニナリマスト、寧ろ良クシヨウトシタコトガ、角ヲ矯メテ牛ヲ殺スヤウナ結果ニナルコトヲ恨レマスノデ、諄イヤウデゴザイマスガ、特ニ御願ヒヲ申上ゲテ置キマス、サウシテ地元ノ者ガ林道ガ荒レレバ林道ヲ改修シ、便利ノ點イ所デモ之ヲ開イテ、薪炭ガ里ヘ出ルヤウナ工夫ヲシ、努力スル、ソレヲ十分認メテヤツテ戴ケルヤウニ御願ヒシナケレバナラヌト思ヒマスノデ、附加ヘテ御願ヒヲ申上ゲタノデアリマス

次ニ此ノ問題モ或ハ論議サレタコトカトモ思ヒマスカレドモ、特ニ私共ノ

地方ニ關係ガ深イノ御尋ネ致シタイ
ト思ヒマスガ、今農林省ニ於キマシテ
ハ、國有林野ノ中ニ開墾地ヲ設ケテ、
農耕適地ニ付テハ之ヲ拂下ゲテ、外地
引揚同胞等此處へ移住セシメテ、
農耕ノコトニ當テセヨウトナサツテ居
ル、所ガ農耕適地ダケハ先ヅ拂下ゲテ
戴ケルトシテモ、農業ト云フモノハ唯
田圃ト畑サヘアレバ出來ルモノデハゴ
ザイマセヌ、薪炭ヲ採取スル林野モ、
草ヲ採ル採草地モ、田圃ニ付テナケ
レバナラスノデアリマスガ、是ハ拂下
ヲ御願ヒシマス、田圃ニ畑ニナル
ト云フ所ダケハ拂下ガ認メラレテモ、
山トシテ或ル程度ナケレバ農村ノ生活
ガ困難ナリ、山トシテ取ツテ置ケ部
分ノ拂下ガ出來ナイトカ、採草地トシ
テ取ツテ置ケ部分ガ認メラレナイト云
フコトナリマス、折角外地引揚同
胞ナドガ山ノ開墾地へ参リマシテモ、
生活ニ非常ニ支障ガゴザイマシテ、苦
シミガ更ニ重ナラナケレバナラナイ
憐ムベキ状態ナドゴザイマスカラ、
此ノ點ヲ御考慮ニナリマシテ、耕地以
外ノ林地並ニ採草地ヲ同様ニ拂下ゲル
コトヲ地方へ指示願ヒタイ、是ハ營林
署アタリデハ、ドウモ自分ガ從來育テ
タ丁寧ニシテ來タ林地デゴザイマスガ
ラ、之ヲ民有ニスルコトハ少シ苦シイ
デセウ、可愛イ我が子ヲ手放スヤウナ
氣ガシマシテ、地方ノ出先ノ營林署ア
タリノ係官トシテハ、ソレヲ手放スコ
トニハドウモ賛成出來ナイ、是ハ耕地
トナル所デモ同ジデアリマスガ、ドウ
モ煩惱ガ切レナイト云フヤウナ實情ニ
アリマス、其ノ邊ノ所ヲ何トカ適
當ニ御遠慮戴イテ、地方へ御指示下サ
ルヤウニ致シタイト思フノデアリマ
ス、其ノ點ハドウ云フ風ニナツテ居リ

マスカ御伺ヒ致シマス
○中尾政府委員 國有林ヲ開墾致シマ
ス場合ニ、附屬地トシテ薪炭林或ハ
採草地ノ開放ヲ考ヘヨト云フ御趣旨ハ
御尤ト思ヒマス、此ノ開墾地以外ノ薪
炭林或ハ採草地トシテ開放致シマスコ
トハ、政府ト致シマシテモ考慮ヲ致シ
テ居ルノデアリマス、唯開墾適地ハ拂
下ト云フモノヲ致シマスガ、其ノ附屬
地デアアル今ノ薪炭林、採草地ト云フヤ
ウナモノハ、之ヲ各戸ニ別々ニ分ケマ
スト、面積ガ非常ニ小面積ニナリマシ
テ、經營上如何カト考ヘラレル點モア
リマス、此ノ點ハヤハリ國有トシ
テ、唯其ノ部分ヲ薪炭或ハ採草地トシ
テ共用セシメルヤウナ方法ヲ執ツテ行
キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、但
シ場所ニ依リマシテ、或ハ將來拂下ヲ
適當トスル場所モ出來テ來ルカト思ヒ
マスガ、國有林ノ内部ニ開墾ヲ致シマ
スルヤウナ場合ニハ、只今申上ゲマシ
タヤウナ共用ノ方法デ出來ルダケ廣ク
共用セシメテ、開墾者ノ生活維持ニ資
シタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリ
マス
○的場委員 是ハ私共ノ希望通りニ出
來ナイカモ知レマセスガ、個人有トシ
テ不適當ナルモノハ部落有或ハ市町村
有トシテ、國有林野デナイコトニシ
テ、人民ノ手へ御返シ願フコトノ方ガ
工合ガ宜イト考ヘルノデアリマス、左
様ナ風ニ出來ルダケ御取扱ヒ下サルコ
トヲ御願ヒシタイト思フノデアリマス
更ニモウ一ツ之ニ關聯シテ御伺ヒ致
スノデアリマスガ、今日ノ國有林野
ト云フモノハ明治二十年頃、人民ノ山
デアツタモノモ、人民ノ自由ニ處理シ
テ居ツタ原野モ地權設定ノ時ニ、當時
ノ人達ガ、税金ガ恐ロシク高ク課カル

ヤウナ「デマ」ノ爲ニ、税金ガ恐ロシイ
ノデ總テ國有ニシタ地方ガ多イノデア
リマス、隨テ地方ニ依ツテハ、己ノ宅
地周リカラ總テ之ヲ國有トシテ今日マ
デ續イテ居リマス、宅地マデ國有ノ中
ニアル所ガアリマス、斯ウ云フ所ハ此
ノ際、其ノ附近ノ麓山ノ林地モ原野
モ、ソレニ附隨スル田畑モ、其ノ附近
ノ住民へ拂下ゲラレル方ガ適當デハナ
イカ、今日ハ農地法モ制定サレマシ
テ、今マデ所有シテ居ツタ地主ノ土地
モ之ヲ耕作農民ニ與ヘントシテ居ル時
デアリマス、ソレナノニ國有林野ガ部
落ノ中マデ入り込ンデ來テ居ルトカ、
或ハ周圍ガ全部個人有デアアル、其ノ眞
中へ國有林野ガアルト云ツタヤウナ、
其ノ附近ノ住民ニ對シテハ同情スベキ
事情ニアル所ガ非常ニ多イ、是ハ此ノ
際農地法制定同時ニ、國有林野ヲ整
理致シマシテ、其ノ附近ノ住民ノ手ニ
返スベキデアルト考ヘマスガ、之ニ付
テハ如何様ナ御考ヘニナツテ居リマス
カ、伺ヒタイト思ヒマス
○平川政府委員 御話ノ如ク、國有林
ノ中ニ於テ國有林ノ經營ト云フコトヲ
必ズシモ必要トシナイヤウナ、或ハ寧
ろ部落ノ有ニ歸セシメタ方ガ適當デア
ルヤウナモノモ相當ニアラウカト思ヒ
マスガ、之ニ付キマシテハ、曾テ林野
ノ整理ヲヤツタコトモアルノデアリマ
スガ、更ニ近イ機會ニ於キマシテ整備
ヲ致ス必要ガアラウト存ジテ居リマ
ス、唯此ノ問題ハ非常ニ色々ナ複雑ナ
問題ヲ孕ンデ参リマス、一般ニ、
簡單ニ斯ウ云フコトヲヤルト云フコト
ヲ、今直チニハ行ヘナイノデアリマス
ケレドモ、一定ノ制度ヲ立テマシテ、
サウシテ林野ノ整備ヲヤルコトハ、是
ハ必要デアラウト思ヒマス、或ベク早

イ機會ニヤリタイト考ヘマス
○平野委員長代理 是ニテ暫時休憩致
シマス、午後三時再開致シマス
午後零時五十分休憩
午後三時十分開議
○森委員長 休憩前ニ引續キ、是ヨリ
會議ヲ開キマス、質疑ヲ繼續致シマ
ス一の場君
○的場委員 午前ニ大體質問サセテ戴
イタノデアリマスガ、大臣ガ御見エニ
ナツタヤウデアリマスカラ、今少シ根
本ノ問題ニ付テ一ツ二ツ御伺ヒヲ致シ
タイト思ヒマス、治山ノ問題ハ國土保
安ノ上ニ非常ニ大事ナ問題デアツテ、
山ヲ治メルコトニ依ツテ川モ或ハ田畑
モ保ツコトガ出來ルノデ、其ノ點ニ付
テハドナタモ御意見ハ同ジヤウニ拜承
シテ居ツタノデアリマス、所ガ此ノ田
畑或ハ河川ノ復舊工事ノ方ハ、非常ニ
目立ツノデ直ツテ手ガ著イテ、復舊工
ニ國費モ相當致シテ戴イテ、復舊ガ早
イヤウデゴザイマスガ、山ノ災害復舊
ガ遲々トシテ進マナイノデ、更ニ又其
ノ次ノ雨季ニハ、川ガ氾濫ヲシテ堤防
ヲ壞シ、美田ヲ埋メルト云フ現象ヲ繰
返シテ居ル實情デアリマス、是ハ山ノ
方ハ山ノ關係ノ役所デ、川ノ方ハ川ノ
關係ノ役所デ別々ニ扱ツテ居ラレル、
サウ云フ所デ一ツハ違ヒガ多イノデハ
ナイカト考ヘマス、私共ノ地方デハ、
昭和十三年ノ大水害ノ山崩レノ山地ノ
砂防工事ヤ、押流サレタ土地ノ植林等
ハ、今日ニ至ルモ其ノ儘ニ相成ツテ居
ル、所ガ幾度カ其ノ下流ノ河川改修ナ
リ、堤防ノ復舊工事ナリ、壓レタ道路
ヤ橋ノ復舊ナリハ行ハレマスケレド
モ、上流ノ山奥ノ方ガ巧ク復舊ヲシマ
セヌノデ、少シノ雨デ又再び非常ナ災

害ヲ受ケルト云フヤウナコトヲ繰返シ
テ居リマスカラ、根本ハ下流ノ堤防ヲ
押ヘルコトヨリモ、上流ノ山崩レノ跡
ノ砂防工事ナリ植林ノ方ナリヲ急ガナ
ケレバナラスモノデアリナイカト私共ハ
考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云、
味ニ於テ、私共ハ此ノ國土保安ニ
スル總テ一貫シテ、關聯付ケテ
ヲスルヤウナコトニ役所ノ機構ヲ御變
ヘニナツタラドナモノデアアルカ、斯
ウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス
ガ、ソレニ付テ大臣ノ御考ヲ御伺ヒス
ル譯デアリマス、現在アル役所ノ中
デ、巧ク連絡ガ付イテ行ケバソレデモ
宜イヤウナモノデアリマスガ、私共ハ
一ツノ機構ノ中デ、山奥ノコトカラ海
ノコトマデ一貫シタ治山治水、國土保
安ノコトガ考ヘラレ、手ガ著ケラレル
ヤウニスルコトノ方ガ、工合宜ク行ク
ノデアリナイカト、斯様ニ考ヘテ居ル
デアリマス、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス
○和田國務大臣 河川ノ改修ト砂防工
事ナドノ間ノ連絡ガ中々巧ク行カヌ、
又山ノ中ニ行ケバ或ル點ニ於テハ是ガ
一致セヌ、斯ウ云フ點モアツタノハ事
實デアリマシテ、ソレ等ノ點ニ付テ現
在行政廳ノ所管ガ異ツテ居リマス爲
ニ、從來色々ノ缺點ガアツタト云フコ
トニ付テハ、色々ノ方カラ御批判ヲ受
ケテ居ル譯デアリマスガ、是ハサウ云
フコトノナイヤウニ、實際計畫ガ統一
的ニ立テラレテ行キマスルナラバ、其
ノ後ノ連絡ト云フコトハ是ハ割合ヤリ
宜イコトデアアルノデアリマシテ、ドウ
云フ仕方デ其ノ實際ヲヤツテ行クカ、
例へバ現在ノ儘アモ事實上兩者ガ十分
連絡ヲ取ツテ行キマスルナラバ、事實
上問題ガ解決スル部分ガ、相當アルノ
デアリナイカト思フノデアリマスガ、尙

ホサウ云フ點ニ付テハ、今後トモサウ云フコトアリマセヌヤウニ、是ハ十分機構其ノモノノミナラズヤリ方ニ付テモ、適當ニ善處スルヤウニ研究致シテ見タイト、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第アリマス

○的場委員 常ニ現場ヲ見テ居リマス私共カラ考ヘマス、何處ノ役所デモ、自分ノ受持ノ所ハ非常ニ熱心ニヤツテ職キマスケレドモ、餘所ノ役所ノ分野ノ所ヘハ、氣ガ付テモ、サウ餘計ナコトモ、言ヘナト云フノガ實情デアラウト思ヒマス、ソレハモウ已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、人ノ分野ノ所マデ餘計ナコトヲ叩イタリ、出過ギタコトヲ言ツタリスルヤウナコトハ、誰ガヤツテモ遠慮セザルヲ得ナイノデゴザイマスカラ、サウ云フ所ニ遠慮ノナイヤウナ機構ニシテ載ケバ、私ハ巧ク行クノデハナイカト思ヒマス、此ノ點ニ付テハ更ニ適當ニ御考ヘテ願ヒタイト思ヒマス、同時ニ國トシテ

ノ問題、川ノ問題ハ、地方デハ財政上ノ關係モアリマシテ、中々地方デケデハ思フヤウニ行カナイ、非常ニ困難ノ件フコトデアリマスカラ、國ノ力ヲ以テ相當施設シテ載カナケレバナラナイコトガ多カラウト思ヒマス、今申上ゲマスヤウナ山ノ關係、川ノ關係、ソレニ繋ガル海ノ關係、是ハ山ガ壞レテ川ガ淺クナリ、堤防ガ壞レ、同時ニ土砂ガ流レテ海ガ淺クナツテ港ガ用ヲ爲サナクナルトカ、魚介或ハ海藻等ノ繁殖ガ出來ナクナツテ、漁民ガ困ル、農民ダケデハナイ、國全體ニ繋ガル非常ニ大事ナコトデアルガ、其ノ大本ハ山デアルト云フコトヲ考ヘマス、山ノ方ハ非常ニ大事デアルノニ、其ノ大本ノ山ノ方ガ今日マデ疎シセラレテ居ッ

タト云フコトハ事實デアリマス、ソレデアリマスカラ、私達ハ山ヲ立派ニ治メルコトニ依ツテ川ガ治マリ、海ガ治マルノコト云フコトガ事實デアリマシナラバ、其ノコトヲ立派ニヤツテ行クヤウナ役所ノ機構ニシテ載キタイ、又研究機關等モ、美田ノ中ニ米ヲ作ル方法、立派ナ知ニ警ヲ作ル方法ハ研究サレテ居リマスガ、其ノ美田ヲ保護シテ行クノニハドウスレバ宜イカト云ツタヤウナ意味カラ、山ノコト、川ノコトヲ一貫シテ研究スルヤウナ、ソレヲ指導スルヤウナ機關ヲ政府ニ於テ設置シテ載キタイ、唯單ニ枝先ノ、米ガ斯ウスレバ宜ク出來ルト云フヤウナコトデナシニ、根本ノ山ノ關係、川ノ關係、更ニ海ノコトモ併セ研究スルヤウナ機關ヲ、國デ施設シテ載キタイ考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトニ付テ何カ御考ヘニナリ、或ハ今後ノ御方針デモゴザイマシタナラバ、御聽カセジ願ヒタイト思ヒマス

○和田國務大臣 御意見ハ御尤モナコトダト思フデアリマス、例ヘバ一ツノ川ガ流レテ居ル、其ノ川ニ付テ見ル所ノ經濟的ナ、或ハ文化的ナ、又社會的ナ色々ナ影響ト云フモノヲ究メテ、サウシテソレヲ綜合的ナソレムノ必要ナ施設ニ移シテ行クコト云フ事柄ハ、實際上非常ニ必要ダト思フデアリマシテ、例ヘバ利根川ナラ利根川ト云フモノヲ取リマシテモ、農業ノ方ノ見地カラモ、又商工業ノ方ノ見地カラモ、又漁業ノ方面カラモ見テ、綜合サレタ行政ヲ適當ノ分野ニ於テヤツテ行クコト云フコトニスレバ、非常ニ宜イト思フノデアリマシテ、ソレ等ノ點ニ付テハ、將來ノ問題トシテ何等カ一ツ研究

シテ見タイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ河川改修ト例ヘバ用排水ノ土木工事ノ間ノ問題ニ付キマシテモ、農林省ト内務省トノ間デ、實際的ニ河川改修ヤル點ニ付テ、農業用水ノ方ト十分連絡ヲ執シテ系統アル行政ガ行ハレバ、ソレハドチラカ事務的ニ分擔シテ居リマシテモ巧ク行ク譯デアリマスガ、ソコガ從來トモ「セタシヨナリズム」ト云フカ、協調ガ足リナカッタト云フカ、色々ナ非難ガアツタ譯デアリマス、斯ウ云フ行政面ニ於ケル今後ノ統一調整ト云フ事柄ハ、唯單ニ林政ノ方デケデナク、今後官吏制度、行政制度、其ノ他ガ相當變テ行クコトガ豫想サレル時期デゴザイマスノデ、サウ云ツタ際ニ、十分我々トシテハ實現スルヤウニ研究ヲ怠ラナイ積リデ居リマス

○的場委員 今ノ問題デ、山ニ關係スルコトト、普通一般ノ農業ニ關係スルコトト併セ研究スルヤウナ機關ニ付テハ、ドンナ風ニ大臣ハ御考ヘニナリマスカ、必要性ヲ御認メニナリマスカラ、必要モナイノデアリマシテ、例ヘバ今度農林省ニ農業綜合研究所ガ出來マスシ、片方デハ開拓研究所ガ出來ル譯デアリマスガ、ソレ等ノ點カラ考ヘテモ、ソレハ唯農業ハ農業デケテ研究シテ居レバ宜イノデハナク、山ト農林省ト當然老ヘルベキデ、サウ云ツタ山ト農業ト云フモノトノ不可分ノ關係等ニ付テ、綜合的ニ研究シテ行クコトガ必要デアルトハ、私共全ク同感デアリマシテ、今後ハサウ云ツタ點ニ付テ、十分綜合性ヲ保タセテ行クコトデナイトイケナイノデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、問題ハ片方ガ前提ニ

ナリ片方ガ結論ニナルト云フモノデナク、オ互ニ相互ニ關聯シ合ツテ居ル問題ナノデ、サウ云ツタ點ニ付テ、農林省トシテ十分調査シタリ、研究シタリスル積リデ居ル譯デアリマス

○的場委員 更ニ此ノ問題ニ付テ御願ヒラ申上ゲテ置キタイノデアリマスガ、從來、國民一般ノ常識カラ申シマシテモ、海ノ問題ハ耕地ノ問題、或ハ川ノ問題等ニ付テハ常識ガ發達シテ居リマシタガ、山ノ問題ハ國民一般カラモ忘ラレ、或ハ常識的ニモ缺如シテ居ル點ガ非常ニ多イト思ヒマス、隨テ私達ハ、國民學校ノ教育ト云フヤウナコトニ付テモ、山ト云フモノヲ相當多ク教材ニ採入レテ扱シテ載キヤウナ風ニ御願ヒシタイ、サウ云フコトモ考ヘテ居ル次第デアリマス、更ニ又國ノ色々ナ施設ニ付テモ、山ノ方ハ稍々取殘サレテ居ルヤウナ面モ多イヤウデアリマスカラ、今言ツタヤウナコトヲ御願ヒスル次第デアリマス、更ニ一ツ御檢討ヲ御願ヒシテ置キマス

ソレカラ次ノ問題、法文中ニ「含マツテ居ナイコトデスガ、モウ一ツ御尋ね致シタイノデアリマス、林業ノ從事者ニ對シテ色々ナ物資ノ特配ガアリマス、是ハ普通ノ製炭業者トカ、木材業者ト云ツタヤウナ、木ヲ伐リ出ストカ、炭ヲ燒クト云ツタヤウナ方面ニハ、或ル程度地下足袋ガ廻ツタリ、酒類ガ特配ニナツタリシテ居リマスガ、山ヲ育テテ造林スルト云フ勞務者ニ對シテハ、加配、特配ト云フモノガ忘ラレテ居ルヤウニ思ヒマス、是ハオ忘レニナツテ居ルノデハナイカ、末端ノ取扱ガ間違ツテ居ルノカ、中央ノ方デオ忘レニナツテ居ルノカ、之ヲ一ツ伺ヒマス

○和田國務大臣 勞務加配ノ點ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ本年度ハ極メテ食糧事情ガ窮乏デゴザイマシタノデ、色々ト必要ナモノハ澤山アルノデアリマスガ、ソレ等ノモノニ十分廻リ豫ネル、而モ從來重點的ニ配給シテ居ツタモノニ付テモ、整理シテ數量ヲ制限シナケレバナラナカッタヤウナ事情ガゴザイマシタノデ、御話ノ造林ノ方面ニ付テモ實ハ參ツテ居ナイノデアリマス

○的場委員 ソレデ能ク分リマシタガ、實ハ是ハ少々地下足袋ガ配給ニナルトカ、或ル程度ノ酒ガ特配ニナルトカ云ツタヤウナコトハ、大シタ問題デハナイノデアリマスガ、山ハ我々ガ育テタノデハナイカ、此ノ山ヲ是マデ育テルノニハ四十年、五十年ノ苦勞ヲシテ來タノデアル、此ノ生ミノ親タル我我ガ、又次ノ山ヲ育テル爲ニ此ノ勞苦ヲ日々重ネテ居ルノニ對シテ何等ノ恩惠モナイノニ、唯木ヲ伐ツタリ、炭ヲ燒ク者ニハ地下足袋ヲ酒ヲ呉レタリスルト云フコトハ、甚ダ不都合デアルト云フヤウナ感情ニナリマシテ、山主——ト云ツテモ百姓錢ヲ僅カ一段カニ得テ持ツテ居ル山主スカラ、大シタ山主デハナイノデスガ、サウ云フ連中ハ、自分ガ山ヲ育ツテ、ソレヲ賣ツテ炭ニシ、或ハ木材ニシテ居ル、所ガ自分デ炭ニシテ居ル人ニハサウ云フモノガアルガ、餘所ノ人ニ炭ニシテ賣フト地下足袋一ツ貰ヘナイ、所ガ藪ヲ拂ツテ木ヲ植エ、木ヲ育テル所ニコソ地下足袋ノヤウナモノハ必要ガアルノデアツテ、大森林ノ中ヘ行ツタ、藪モナイ所デ炭ヲ燒クノニハ地下足袋ハ要ラヌノ

ツテ居リマスガ、今石炭ヲ掘ルニハ坑
木ガナクテハ迪モ出来ナイ、サウスル
ト其ノ増産ハ出来ナクナルト云フ問題
ニ歸著スルノデアリマス、木材ノ生産
其ノ他ノ監督、割當ハ農林省ガ責任ヲ
持ツテヤツテ居ルコトニナルガ、此ノ
生産方面ノ大隘路ニナル問題デアリマ
ス、之ヲ大臣カラ特ニ一ツ大藏當局ニ
協議ヲシテ、目ノ前ニ生産スル所ノ石
炭用ノ坑木、或ハ進駐軍用材トシテ出
ス木材、是等ヲ第二封鎖トシテ凍結シ
テ置クコトハ、生産ヲ「ストップ」スル、
之ヲ一日モ早ク解除スル、審査委員會
ニ掛ケテ決定シテ、封鎖解除ヲシテ戴
キタイト云フコトヲ、緊急ノ願ヒトシ
テ此ノ機會ニ御願ヒシテ置キマス
○和田國務大臣 只今ノ點ニ付テハ私
ハ今初メテ聽キマシタ、十分事情ヲ調
ベマシテ、大藏當局ニ申シテ置キマス
○平野委員長代理 本日ハ此ノ程度デ
散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開
會致シマス

午後三時四十五分散會

昭和二十一年十一月十六日印刷

昭和二十一年十一月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局